

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号	101
------	-----

自己評価

学校教育目標	・障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に着け、社会に貢献する児童生徒を育成する。
評価する領域・分野	生活相談部「生徒指導（教育相談）」「特別活動」「安全管理」
現状及びアンケートの結果分析等	・「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」という項目では、児童生徒への日々の指導や関りの中で親身な対応をして信頼関係を築いていることもあり高評価となった。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣や望ましい生活態度の育成 ・ 人権教育における行動力の育成 ・ 予防的、必要に応じた個別の教育相談活動 ・ 児童・生徒会活動や部活動、MSリーダーズ活動など特別活動の充実 ・ 健康で安全・安心な生活についての意識の向上
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部有識者を含むいじめ対策委員会の設置 ・ 職員の人権感覚を磨き、思いやりあふれる学校実現のための人権教育推進委員会の設置
目標の達成に必要な具体的取組	1 日常生活指導 2 人権教育・道徳教育 3 教育相談（在籍者教育相談） 4 特別活動 5 安全指導
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・ 交通事故は起きていない。問題発生時の生徒指導は学部と連携して行い、必要に応じてS Cや外部機関と連絡を取りながら対応する。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ MS・MSJリーダーズによるあいさつ運動、駅での啓発活動を実施。 ・ 言葉遣い、スマートフォンやインターネット使用時の留意事項等を指導。 ・ 児童生徒理解、情報収集、問題行動への対応、教育相談週間の設定。 ・ いじめ等の実態把握と「ひびきあいの日」の実践、職員研修。 ・ 「ひびきあい活動」での思いやりの心、自主性・創造性・協調性の育成。 ・ 短歌コンクールを例年通り開催。 ・ 不審者対応訓練等の安全確認を徹底。
評価の視点	評価
①児童生徒の安全確保	A (B) C D
②いじめのない環境づくり	A (B) C D
③望ましい生活態度の育成	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○様々な工夫をしながら児童生徒の自主性を重視した活動ができた。 ○安全な登下校ができ、事故もなく無事に過ごすことができた。 ▲生徒数減少に伴う様々な活動の内容の変更を行う。（生徒会活動、文化祭等）	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	・ 生徒数の減少を踏まえて様々な活動の目的を再考し、一人一人に寄り添いながら内容を変更、改善を行う。

学校関係者評価 (令和6年12月12日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜盲学校を啓発していくことで、地域で学んでいる「見えづらさ」で悩んでいる児童生徒や保護者に相談先が一つ増えることにつながる。
-----------	---